



Smart Work（働き方改革）に向けた取り組み

言行一致事例のご紹介



2018年6月21日

富士ゼロックス首都圏 株式会社
総務部 担当部長 平山順一

Agenda

- 企業プロフィール
- 活動の背景 経営としての目的

- 活動について
 - ワークライフバランスの実現
 - 生産性向上のために
 - お客様への価値提供
- これからの挑戦
- 最後に

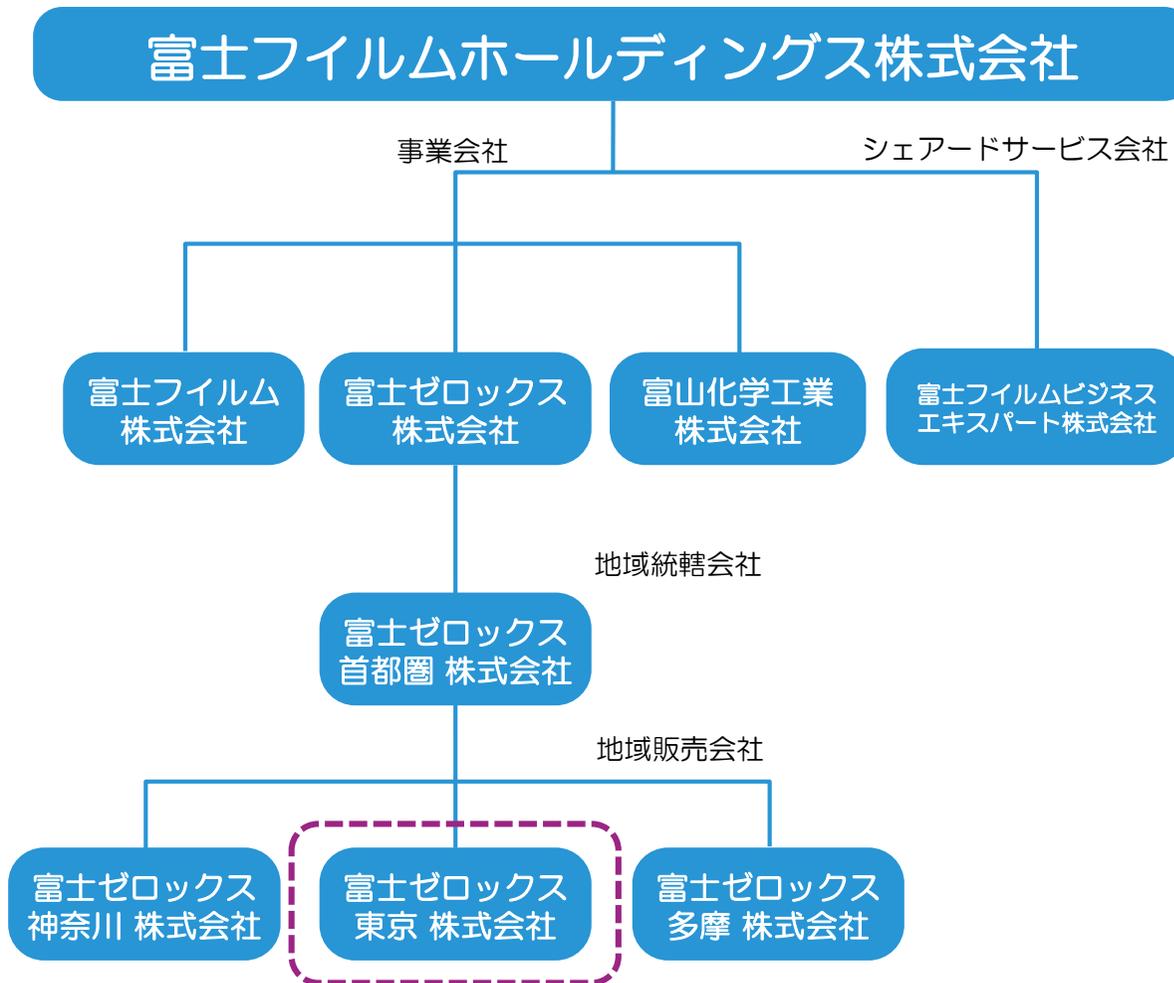
企業プロフィール

富士ゼロックス東京の概要

概要

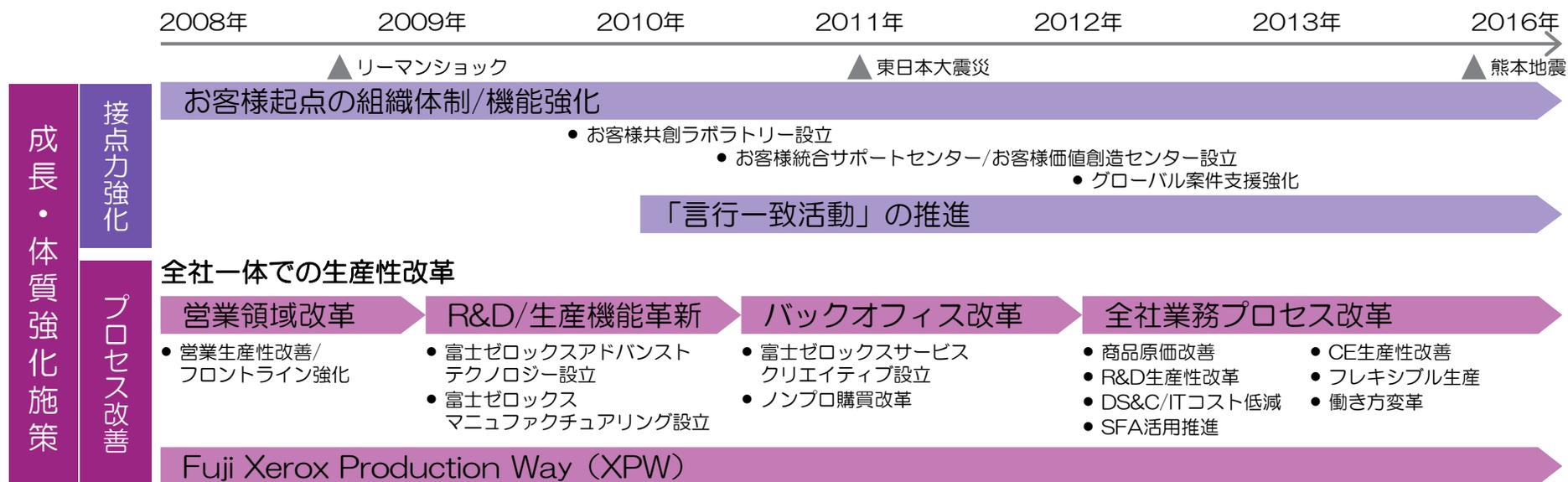
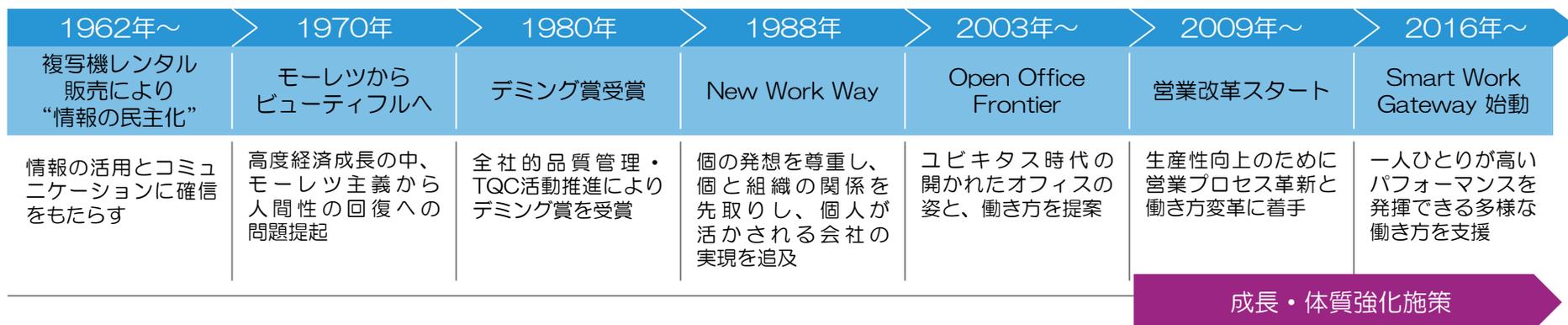
名称 富士ゼロックス東京株式会社
創業 1981年3月20日
設立 1986年3月21日
資本金 1億2000万円
総売上 83,087百万円（2016年度）
営業利益 4,087百万円（2016年度）
本社 〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-14-1
電話 (03) 5908-3911 (代)
<http://www.fujixerox.co.jp/tkx/>
社員数 1,501人（2017年7月期）

グループ概要



ビジネスを通じた「よりよい働き方へ」のあゆみ

富士ゼロックスは、創業以来、お客様のよりよい働き方の実現に向けてご提案するとともに、自社でも積極的に取り組んでまいりました。



活動の背景

経営としての目的

「働き方改革」の目指すもの

少子高齢化で
労働力不足
処方箋は
働き方改革



- 我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。
- こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています。

「働き方改革」は、この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しています。

出所：厚生労働省ホームページ 雇用労働

従業員と経営 二つのニーズを実現

企業競争力の強化

人材の維持確保

生産性の向上

継続的向上

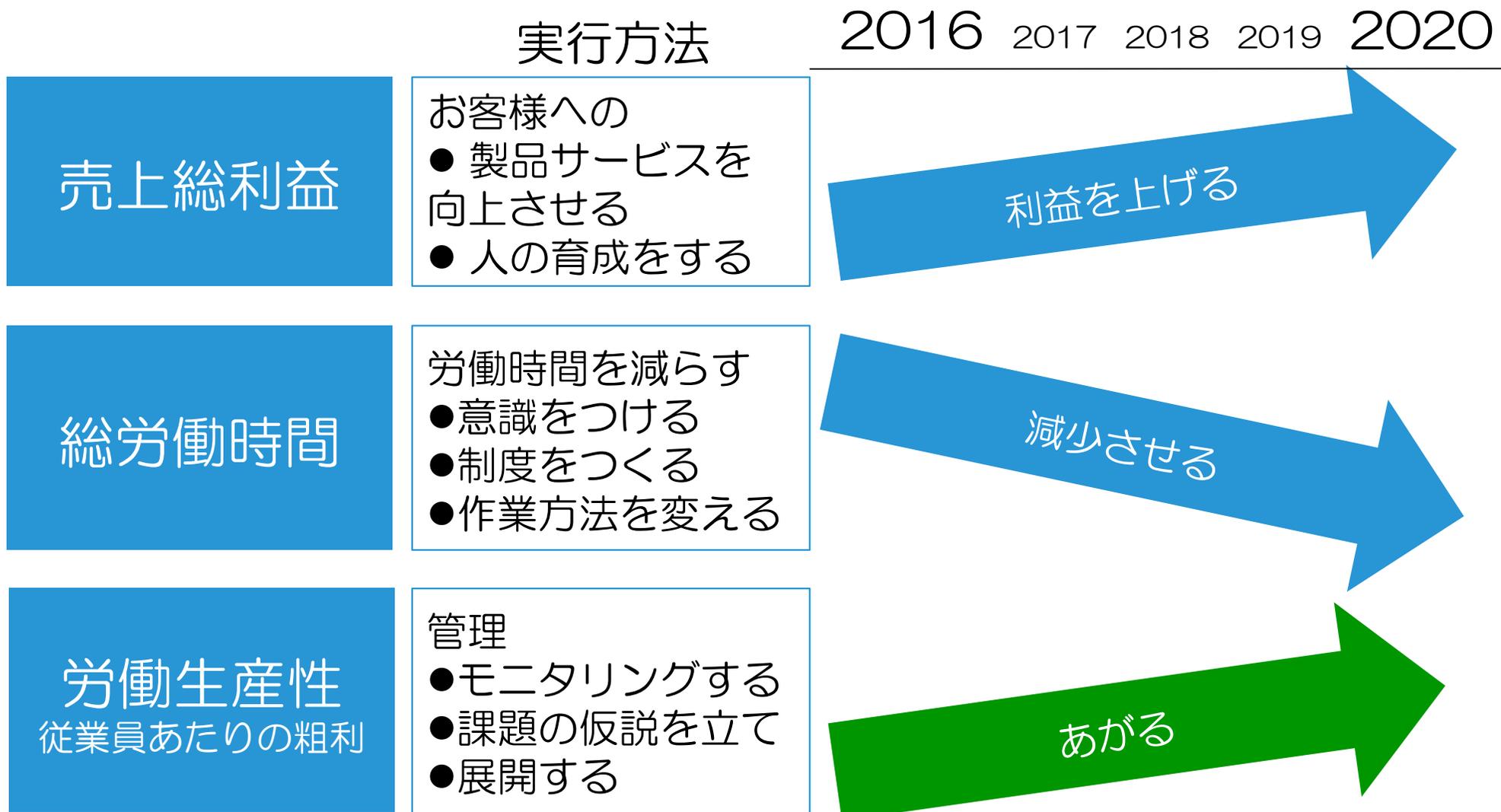
経営者

時間外労働の削減
業務生産性の向上

従業員

働きやすい環境
ワークライフバランス

働き方変革 経営としての考え方



表彰制度の利用

- ✓ 2016年働き方変革と生産性向上を本格的に始動
- ✓ 働き方の指標を模索。独りよがりにならず前進するための評価軸として、表彰制度にチャレンジ

実施事項	管理指標・目標
社会的評価を得る	厚生労働省の主催する賞の受賞を目指し、その企画要求を満たすことで、働き方変革活動の品質を社会レベルに引き上げる
お客様提供価値の検討	お客様への「働き方変革テーマ」での成約件数 50件
営業付帯業務削減による 生産性向上	労働時間1906.7時間を切ることを目指す。 (現状の▲2%) 在宅勤務制度導入 利用率 10%+
働き方変革のための勤務 制度・ルールの変更	
オフィス環境・コミュニ ケーションの改善	

補足：求められる指標（輝くテレワーク賞）

項目	評価指標
社員構成	男女平均勤続年数、定年年齢以上の従業員数、障がい者の従業員数、離職率
労働時間	一人当たりの年間労働時間
制度活用	年次有給休暇利用日数（取得率） 育児休業制度利用者数（取得率） 介護休業制度利用者数（取得率）
テレワーク	テレワーク導入形態、利用対象者 実施実績
受賞歴	認定制度（例）くるみん、えるぼし※1 受賞歴 ※2

※1 くるみん 次世代育成支援対策推進法に基づく認定
えるぼし 女性活躍推進法に基づく認定

※2 市区町村や各団体によるテレワーク、ワークライフバランス等に関する受賞歴

富士ゼロックス東京 受賞のポイント

- ✓ 2016年から、働き方変革推進タスクを立ち上げ、本格的に活動を開始
- ✓ 翌年に、「輝くテレワーク賞」を受賞という形で、一定の評価をいただいた
- ✓ 文書を電子化する文化、セキュリティの確保、親会社を超えるチャレンジを実施

文書の電子化

DocuWorksと複合機によるScanは
従業員なら誰でも出来る文化

セキュリティの確保

サーバーのクラウド化

- 24時間監視等の管理コスト抑制
- 脅威に対する管理コストの削減

子会社のチャレンジ

制度の活用拡大

- 利用対象者の枠をなくす
- 親会社の制度を超えたチャレンジ



働き方の未来へ
Excellent Company を目指して

活動について



ワークライフ バランスの実現

私たちは総労働時間1800時間を目標にワークライフバランスを実現し、同地域内離職率ゼロを目指します。



生産性向上

私たちは仕事のプロセスを見直し、最適な場所で、最適なツールを活用して高い生産性を実現します。



お客様への価値提供

私たちは言行一致の考えに則り、自らの働き方を変化させ、お客様にとっての働き方変革リーディングカンパニーとなることを目指します。

変革活動の目指すもの

働き方変革推進タスクが目指すもの

「働く人の数だけストーリーがある」

そんな発想のもと首都圏地域で働く私達はワークライフバランスの実現、時間当たり生産性の向上、言行一致を通じたお客様への価値提供を目標に仲間と共に輝いていく会社を創っていきます。

私達は仕事のプロセスを見直し、最適な場所で、最適なツールを活用して高い生産性を実現します。



私達は総労働時間1800時間を目標にワークライフバランスを実現し、同地域内離職率ゼロを目指します。

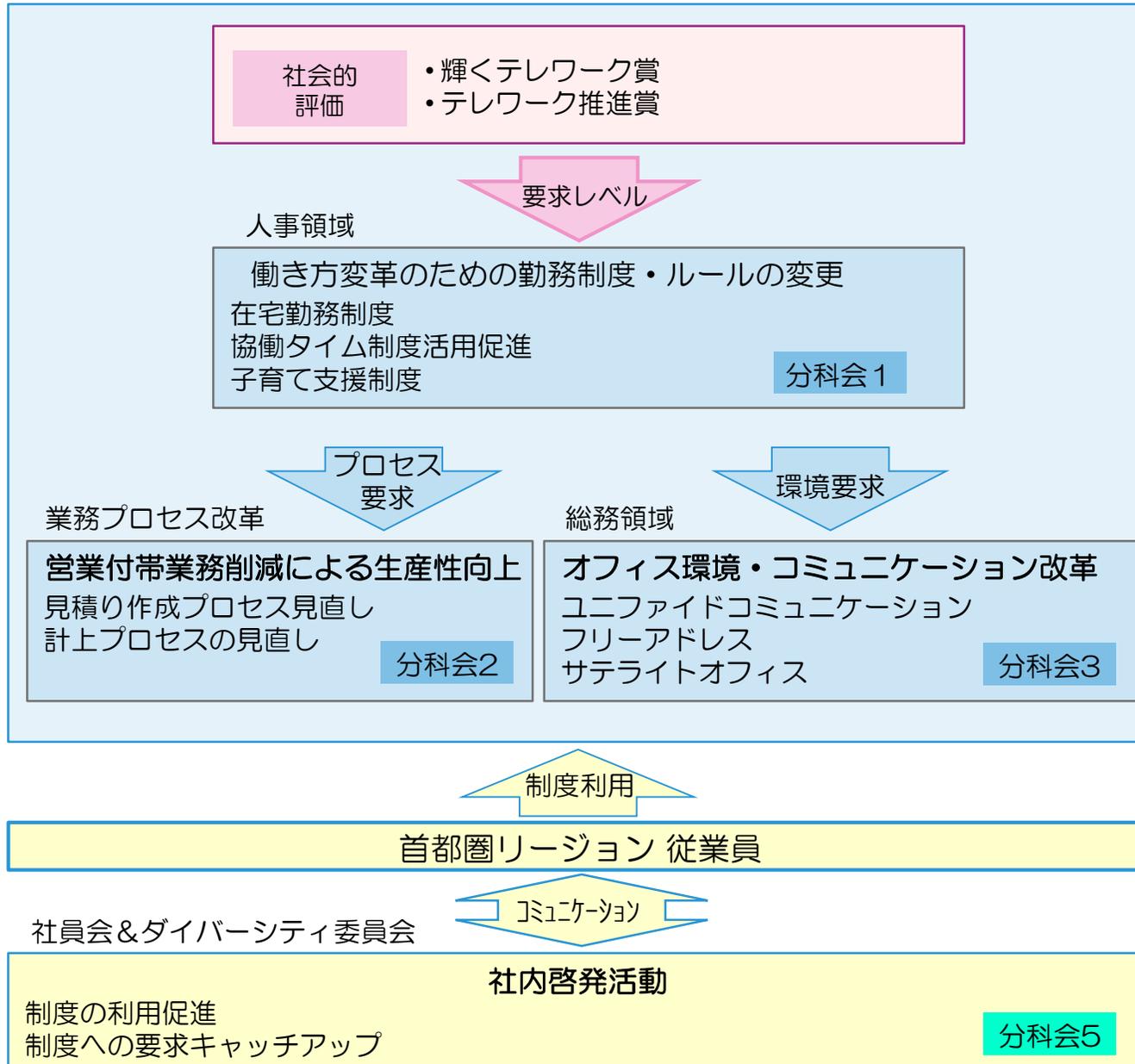
私達は言行一致の考えに則り、自らの働き方を変化させ、お客様にとっての働き方変革リーディングカンパニーとなることを目指します。

働き方変革への活動プロセスの全体像

社会的評価を基準に
ベンチマークする

社内業務プロセスを
変革する

啓発活動をする



働き方変革構造



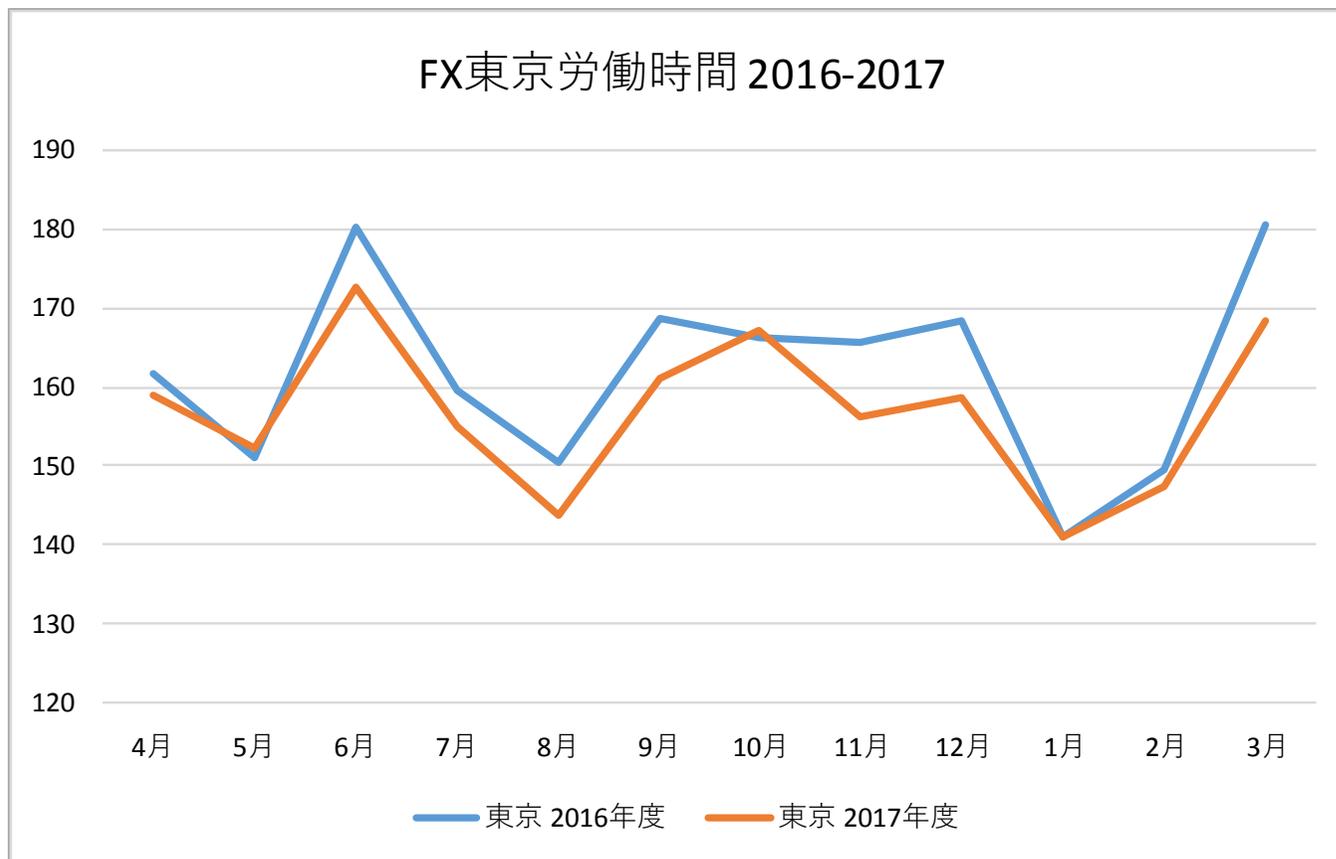
お客様提供価値を検討する



ワークライフバランスの実現

労働時間の改善

労働時間は2017年度に入り、月平均5時間/人 削減された。



■総労働時間 全社平均

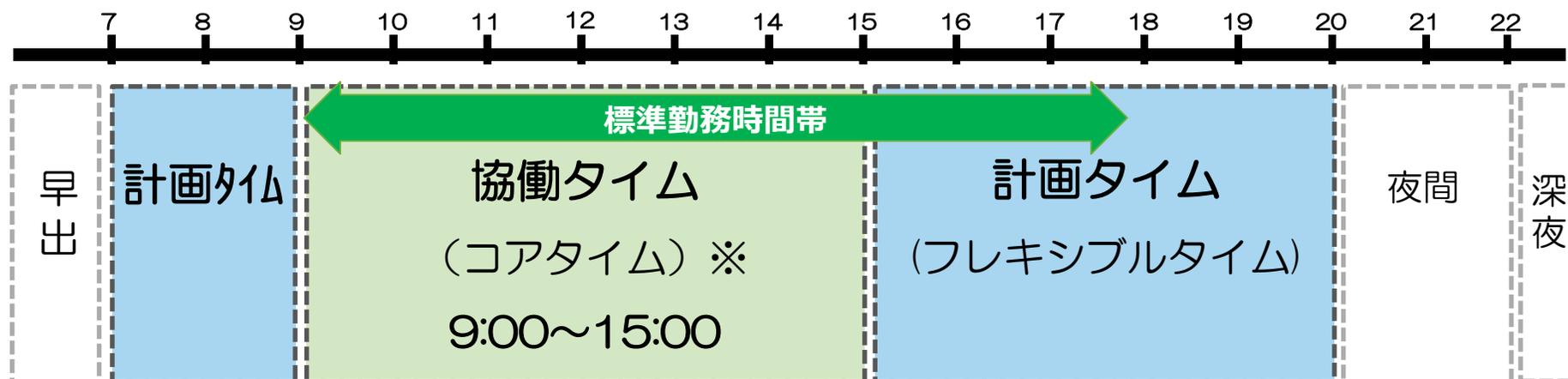
(一般職+管理職/出向者含、役員除く)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均	年間合計
2016年度	161.6	150.9	180.2	159.6	150.5	168.6	166.4	165.7	168.3	141.0	149.5	180.4	161.9	1942.7
2017年度	158.8	152.4	172.8	155.1	143.8	161.2	167.2	156.3	158.7	141.1	147.5	168.4	156.9	1883.1

協働タイム制度による効果

お客様への活動を強化し、業務・個人の状況に対応したフレキシブルな勤務体系を実現

- ✓ 自分で仕事をコントロールできるよう意識の変革を
- ✓ 9:00の始業時刻を変えることなくフレックス制度を導入



※育児・介護などの事由によりコアタイムは10:30~15:00に短縮することも可能

制度の活用率は、全社員の65%、882名
午後の計画タイムを利用して、15時~17時45分の時間帯の帰宅を推奨
総労働時間の削減を可能にした

オープンワーク（在宅/サテライト）制度を広く推進

社員からの提言を反映し、誰もが使える制度としてトライアル導入

- ✓ 育児・介護の方はもちろんのこと、一般職、管理職の別なく、利用申請が可能
- ✓ 「在宅勤務」を「オープンワーク」に名称変更 イメージを刷新
- ✓ 説明会への参加、部門長の許可により利用が可能



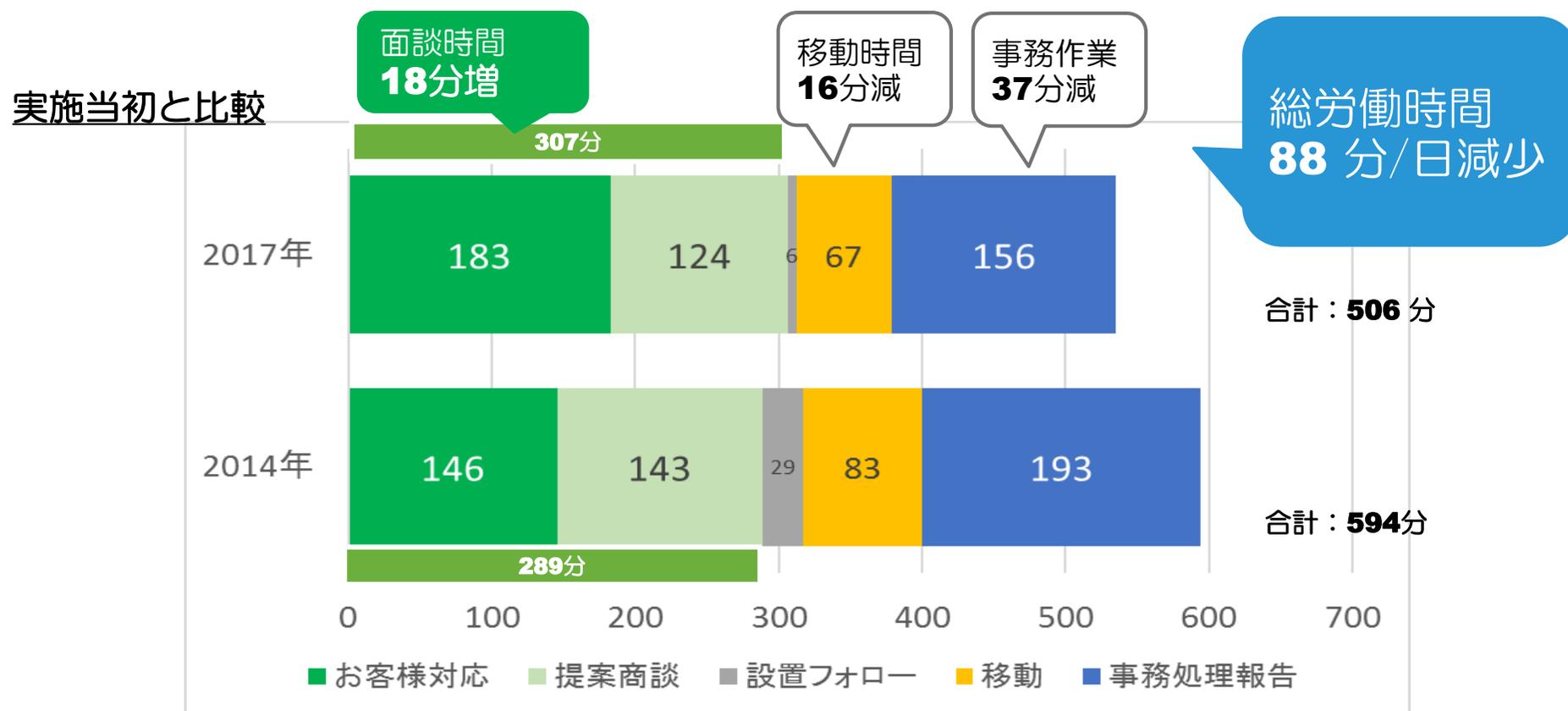
申請状況：2017年9月末時点 241名が利用可能となった

生産性向上のために

工数調査から見えるモバイルワークの生産性効果

モバイルPC利用による、生産性の向上

- ✓ 労働時間は1日当たり88分削減 約120%改善
- ✓ お客様面談時間は18分増加と大きく改善



※工数調査は、お客様担当営業職の一定部門を定点観測したのになります。

モバイルワーク さらなる働き方の変化

サテライトオフィスの利用促進により、移動時間を圧縮

- ✓ 最寄のサテライトオフィスで、業務報告やリプランを検討して帰宅できる
- ✓ お客様訪問後、出先で業務を行うことが可能。作業の手戻り時間が減る
 - ✓ モバイルPCとクラウドによるSFAを利用して報告業務がどこでも可能

Before



After



サテライトオフィスの設置と拡大

- ✓ 2014年10月 既存オフィス9拠点の空き席をサテライト化
- ✓ 2016年10月より駅近くの4拠点のサテライト化とWEBによる公開
- ✓ グループ企業と相互利用を促進、現在22拠点の利用が可能

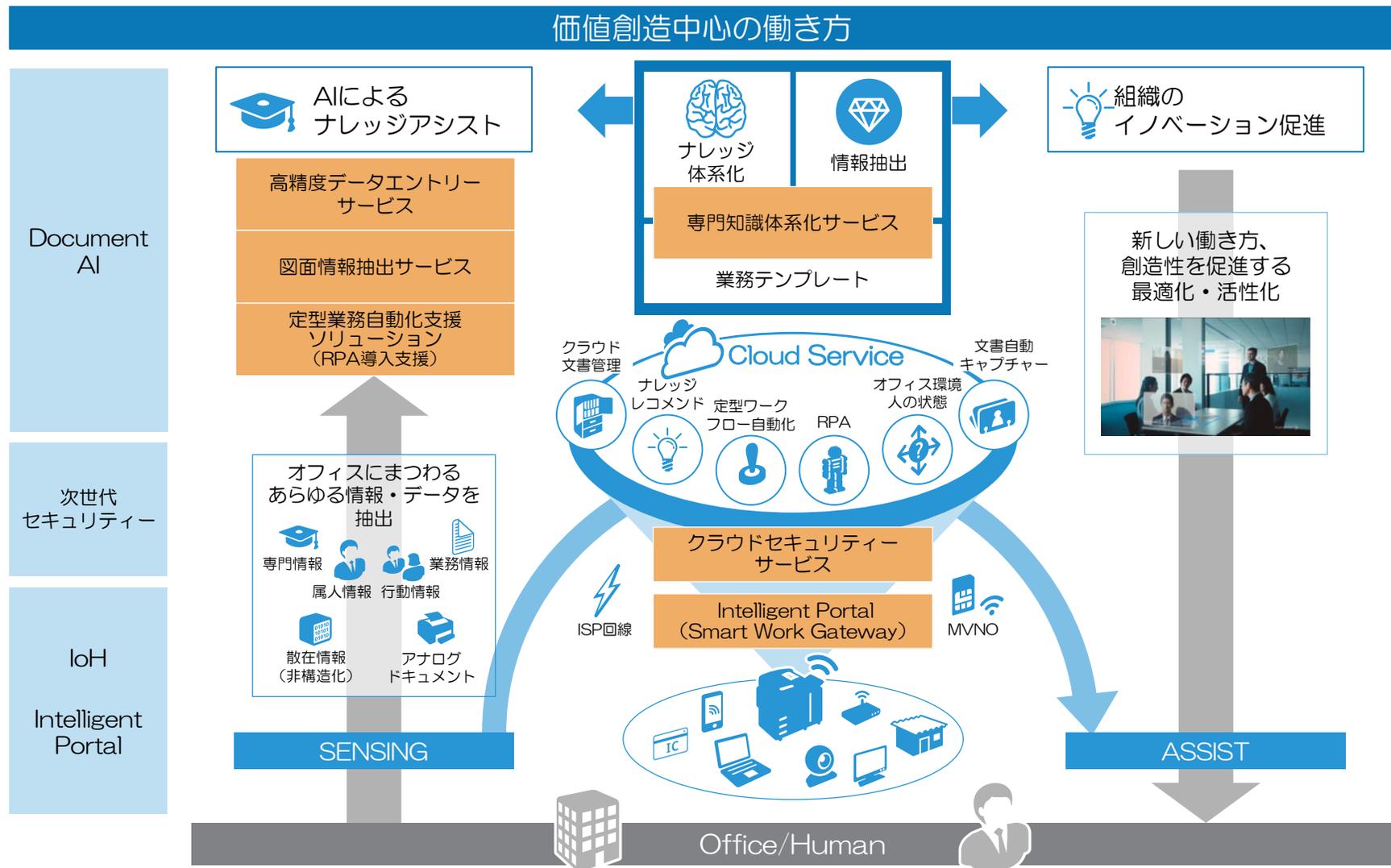


拠点名	最寄駅	利用可否事前確認	入館方法	出力	利用方法
富士ゼロックス東京池袋(城北営業所8階)	JR池袋駅 徒歩8分	事前予約不要	ビジターカードの貸与	○	拠点情報
富士ゼロックス東京五反田(城南営業所7階)	JR五反田駅 徒歩2分	事前予約不要	ビジターカードの貸与	○	拠点情報
富士ゼロックス東京乃木坂(ユニオン乃木坂ビル)	千代田線乃木坂駅 1番出口 徒歩2分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与	○	拠点情報
富士ゼロックス東京常盤台(板橋Kビル)	東武東上線常盤台駅 徒歩10分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与	○	拠点情報
富士ゼロックス東京後樂園(小石川TGビル)	三田線・大江戸線春日駅 徒歩1分 南北線後樂園駅 徒歩8分 丸の内線後樂園駅 徒歩7分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与	○	拠点情報
富士ゼロックス東京大森(第一小田ビル)	JR大森駅 徒歩8分 京急大森海岸駅 徒歩8分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与	○	販売会社 拠点
富士ゼロックス東京南砂(光陽ビル)	東西線南砂駅 徒歩7分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与		
富士ゼロックス東京三軒茶屋(サンタワーズ立花ビル)	東急田園都市線三軒茶屋駅 徒歩3分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与		
富士ゼロックス東京麹町(白揚ビル)	有楽町線麹町駅 徒歩1分 半蔵門線半蔵門駅 徒歩7分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与		
富士ゼロックス東京若松河田(桂ビル)	大江戸線若松河田駅 徒歩5分 東西線早稲田駅 徒歩7分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与		
富士ゼロックス東京大門(芝NBFビル)	浅草線・大江戸線大門駅 徒歩5分 三田線御成門駅 徒歩3分 JR浜松町駅 徒歩8分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与		
富士ゼロックス東京虎ノ門(東洋共同ビル)	銀座線虎ノ門駅 徒歩1分	現地担当者に事前確認	ビジターカードの貸与	○	

場所、席数、予約の有無、担当者、出力方法等を掲載

お客様への価値提供

Smart Work Innovation 全体構想



※ AI : artificial intelligence/IoH : Internet of Humans/ISP : Internet Services Provider/MVNO : Mobile Virtual Network Operator

コラボレーション活動

富士ゼロックスおよび関連会社ではコラボレーション活動と称し、お客様と「共創・協創」することを目的とした社内事例を数多く公開しております。

特に平成29年度より、社会課題である「働き方変革」の取り組みに関してメニューを拡充いたしました。

コラボレーション活動は、実際に業務に携わっているスタッフがおこないますので、現場での失敗談や成功の勘どころなどをお話しさせていただいております。



経営課題		コラボレーションメニュー		対象部門
働き方変革メニュー	制人事	1-1	新しい働き方への取り組み 仕事と生活を両立するための制度づくりのご紹介	経営/人事
	オフィス環境	1-2	働き方変革ワークスペースのご紹介 働きやすく生産性も高まり、すべての従業員がわくわく働けるオフィづくりのご紹介	経営 / 総務
		1-3	働き方変革を支えるオフィス文書管理の進め方 文書管理・電子化はどこから手をつけていくのか？ルール作り等をわかりやすく解説	総務 / 事務
		1-4	モバイルワークを推進するセキュリティ強化の進め方 社内に情報セキュリティを浸透させる方法をご紹介	経営 / 総務 / 情シス
	生産性向上	1-5	出力環境最適化と働き方変革 出力管理に関する当社の取り組みから、働き方変革の事例をご紹介	経営 / 総務
		1-6	Working Folderを活用した企業間を超えた文書共有 セキュアな環境で、企業間での文書共有を実現し、生産性の向上を図る仕組みのご紹介	情シス
		1-7	営業支援システム(SFA)を使用した生産性向上 SFA活用による営業活動の生産性向上を目指した取り組みをご紹介	全部門

※リスクマネジメントやCSR、人材開発など、本年度は全30メニューございます。

フリーアドレス環境のライブオフィス

拠点統合を機にフリーアドレス化を実現

- ✓ 複数拠点の統合により管理コストを圧縮
- ✓ 日本橋、五反田・池袋・渋谷の4拠点をフリーアドレス化

統合前

固定席のため机の上に書類が置かれ雑然としていた



統合（移転）後

フリーアドレス運用でペーパーレスをさらに促進。すっきりしたスペースへ



ファミレス席



集中コーナー



Skype会議



個人ロッカー



LIVE Office公開！
お客様へ
ペーパーレス環境
フリーアドレス
制度説明など
体感いただけます

これからの挑戦

- ◆ 制度の恩恵を受けづらい従業員への対策
- ◆ 社員との継続的なコミュニケーション

制度の恩恵を受けづらい従業員への対策

- ✓ パーツにかかわる業務負担を減らし、生産性の向上、直行直帰できる働き方へ

都心型

(千代田区/中央区/港区)

- パーツ車がお客様先に配送
移動手段が多様化し
直行直帰を目指す

お客様先で受け取り



効果= 働き方変革 + パーツ配送業務の解消

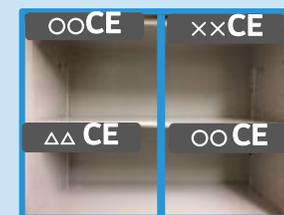
都市周辺型 (東京全域)

- 基準在庫を設定しパーツの
発注時間や仕分け時間を削
減する。
個人のBOXへ自動的に配備

個人ごとの基準設定によるパーツ補充運用



DL運用
良く使用する
パーツを管理



個人基準運用
使用実績に
基づくパーツ
を管理
DL極小化
個人基準外で
必要な部品を
管理

効果= 無駄訪問の削減 + CEパーツ付帯業務削減

社員との継続的なコミュニケーション

本音のコミュニケーションで理解から納得へ

✓ 各属性に合わせた活動により、コミュニケーションを通じた風土改革の実施

Young Board

- 次世代から会社の将来について提言
- 自ら積極的に会社を変革

4期活動期間：2017.10～2018.9
30代メンバー16名で構成
テーマ：新しい働き方の実現に向けた提言
全従業員が永く働ける会社に向け提言

ダイバーシティ推進委員会

- ダイバーシティを根付かせる風土形成
- 多様な働き方を進める施策具申

5期活動期間：2017.4～2018.3
首都圏各社メンバー16名で構成
テーマ：女性CE職のキャリア
働き方改革に向けた広報
ダイバーシティ度観測



Vision Lunch会

- 社員の考える会社の未来をTOPと語らう
 - 10年後どのような会社になりたいか
 - 現状の課題、自分の考える解決策
 - 対象 入社5-7年

社長と話す機会
はなかなか
無いので良
かった！



最後に

2020年に向けて

今年 大きな賞をいただくことができ、
ご支援ありがとうございました。
しかし、まだ道なかばにあります
2020年に向け活動を進めてまいります。

